



学校感染症と出席停止の基準

東京学館船橋高等学校

下記の病気は、学校感染症といわれ、たとえ軽症でも登校できません。(第1・2種) 病院で診断された場合、学校に早急にご連絡ください。その後、医師の指示に従い、登校の許可が出たら書類(治療証明書またはインフルエンザ治療報告書または新型コロナウイルス感染症に関する公欠願等)を持参して登校してください。 *注意* 持参していない場合、授業を受けることはできません。



第1種学校感染症 治癒するまで出席停止

- ・エボラ出血熱 ・クリミアコンゴ出血熱 ・パスト ・マールブルグ病 ・ラッサ熱 ・急性灰白髄炎 ・ジフテリア ・南米出血熱 ・痘そう
- ・中東呼吸器症候群(MARS コロナウィルス) ・重症急性呼吸器症候群(SARS・コロナウィルス) ・特定鳥インフルエンザ
- ・新型コロナウイルス感染症 ・指定感染症および新感染症

第2種学校感染症 学齢期に多い伝染病

病名	出席停止期間	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染可能期間	予防方法	好発季節
インフルエンザ	発症から5日経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで	急な発熱、頭痛、関節痛、咳、全身倦怠感、鼻水、のどの痛み	飛沫	1~3日	発病後3~4日	うがい・手洗い マスク・予防接種	冬 11~3月
百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤が終了するまで	コンコンという短く激しい咳が続く	飛沫	1~2週間	発病後28日	予防接種	夏
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過するまで	発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充血、頬の内側にコップリキ班(白点)ができる。発熱後4日目より皮膚に発疹	飛沫	10~12日	発疹の出る5日前~4日後	予防接種	冬~春
流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身症状が良好になるまで	37~38℃の発熱。片側~両側のあごの後ろが大きく腫れて痛む。食欲不振、嚥下困難	飛沫	1~2週間	発疹7日前から発病後9日	患者の隔離 予防接種	冬~春
風疹(3日ばしか)	発疹が消失するまで	発熱、発疹、耳の後ろ・首・脇の下などが腫れる、咳、結膜の充血	飛沫	2~3週間	発疹のでる7日間から、出た後の7日間	患者の隔離 予防接種	春~夏
水痘(水ぼうそう)	全ての湿疹が痂皮化するまで	水痘のある発疹が体中に次々できる。かさぶたになり、先に出たものから治っていく。	飛沫 直接	2~3週間	発疹のでる1日前からでた後6~7日	患者の隔離 予防接種	冬~春
咽頭結膜熱(プール熱)	全身の発疹が消失した後、2日を経過するまで	発熱、のどの痛み、結膜の充血、首のリンパ節の腫脹	結膜接触 汚染物	5~7日	発病後2~3週	水泳禁止 洗眼	夏~秋
結核	伝染のおそれが無くなるまで	初期は自覚症状なし。胸部X線撮影で発見されることが多い。疲労感、寝汗、微熱、体重減少、肩こり、咳、たん	飛沫	1~2か月		BCG接種 胸部X線撮影による早期発見 栄養と休養	なし
髄膜炎菌性髄膜炎	伝染のおそれが無くなるまで	高熱、頭痛、嘔吐、頸部硬直 早期の治療が必要	飛沫	2~5日		早急な治療	なし

第3種学校伝染病 ただし第3種のその他の感染症については病気が治癒していなくても診断によっては出席停止とならない場合もあります。

流行性角結膜炎	 症状により学校医、その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで	眼の異物感、涙がよく出る 目やに、結膜の充血	結膜接触 汚染物	5~7日	発病後2~3週	水泳禁止・患者の触った物を消毒する・手洗い	春~夏 5月頃
急性出血性結膜炎		眼の痛み、きつい充血、出血してくる	結膜 汚染物	1~2日	発病後5~7日	患者の触った物を消毒する 手洗い	春~夏
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)		激しい腹痛、水溶性の下痢 嘔吐、吐き気	経口	3~8日		手洗い 加熱消毒	
ヘルパンギーナ		高熱(38~39℃)、のどの痛み 発赤、のどの奥に小さな水疱疹、潰瘍	飛沫	2~7日	発病後2~3日	外出を避ける	夏
溶連菌感染症		高熱(39℃)、発疹、扁桃の発赤や腫れ、のどの痛み、いちご舌	飛沫	2~5日	治療開始後24時間	手洗い・うがい	
マイコプラズマ感染症		発熱、乾性の激しい咳が続く、のどの痛み、胸部レントゲン陰影	飛沫	2~3週間	急性期	マスク	
伝染性紅斑(リンゴ病)		両方に少し盛り上がった蕁麻疹の発疹、手足の網目状の紅斑、発熱	飛沫	10~20日	発疹のでる1~2週間前の数日間		冬~春
手足口病		軽い発熱(2~3日)小さな水疱が口の中や手足に出る	飛沫	2~7日	症状のある間	手洗い・消毒	夏
RSウイルス感染症	発熱、鼻水、咳、喘鳴、呼吸困難	飛沫 接触	2~8日	症状間~3週間	手洗い・うがい	冬	
感染性胃腸炎 流行性嘔吐下痢症	発熱、腹痛、下痢、嘔吐、便が白くなる(ロタ)	経口 飛沫	1~3日	症状のある間	手洗い・消毒		
* コレラ・細菌性赤痢・腸チフス・パラチフスなども症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで							
アタマジラミ 伝染性軟属腫(水いぼ) 伝染性膿痂疹(とびひ)	登校しながらの治療が可能	出席停止の必要はありませんが担任には必ずご連絡ください。					

